

目 次

口 絵	
発刊のことば	
凡 例	

自 然 編

第1章 総 説	3
はじめに	3
第1節 長谷村の位置・面積と地域区分	5
1 境 界	5
2 行政区分と面積	5
3 位 置	8
4 地 域 区 分	10
第2章 長谷村の地形・地質の特性	12
第1節 中央構造線	12
1 中央構造線の地質	12
(1) 中央構造線周辺の地質概略	12
(2) 中央構造線の活動史	15
(3) 長谷村内の中央構造線の位置	17
2 中央構造線の露頭	17
(1) 南非持、グラウンド南側の美和湖岸	17
(2) 溝口、長谷中学校北側の美和湖岸	19
(3) 溝口、長谷中学校南側の美和湖岸	19
(4) 黒川の下流右岸	21
(5) 馬越東方の三峰川右岸	22

(6) 粟沢川上流の曲沢	23
第2節 戸台の化石	26
1 戸台構造帯	26
2 小黒川層	27
(1) 小黒川層の地質	27
(2) 小黒川層から産出する化石	27
3 戸台層	28
(1) 分 布	28
(2) 地質構造	28
(3) 岩相層序	29
(4) 化石相	30
4 サンカクガイ	31
(1) サンカクガイの概説	31
(2) 長谷村内の産出地と産出層準	32
(3) 戸台層産サンカクガイの種類と特徴	32
5 アンモナイト	33
(1) アンモナイトの概説	33
(2) 長谷村内の産出地と産出層準	34
(3) 戸台層産アンモナイトの構成比率	35
(4) アンモナイト化石の大きさ	36
(5) 戸台層の堆積時代	37
(6) 戸台層産アンモナイトの種類と特徴	37
第3章 長谷村の自然災害からみた安全環境	56
はじめに	56
第1節 自然災害の実態	56
1 流出土砂対策	58
2 流域の特性	58
3 崩壊地	62

4	中央構造線と崩壊	65
(1)	鹿塩構造帯の崩壊地の集計	67
(2)	崩壊地	68
(3)	崩壊地の発生要因	68
(4)	崩壊機構	69
第2節	安全環境	70
1	水土災害の予測	70
(1)	流域区分と保全対象	70
(2)	水土災害の要因	73
(3)	安全度の評価	75
2	災害危険度	78
第4章	陸水	80
	本篇の陸水学について	80
第1節	三峰川総合開発と三峰川の特質	80
1	三峰川本支流と総合開発概要	80
2	水温	83
3	水量	83
4	水質	86
(1)	気温水温	86
(2)	水素イオン濃度PH	86
(3)	塩素	86
(4)	過マンガン酸カリ消費量	86
(5)	カリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩、カルシウム	86
(6)	放射能	87
5	三峰川水系の発電所(昭和電工株式会社)	88
(1)	第一発電所(中尾)	88
(2)	第二発電所(風巻)	88
(3)	戸台発電所	88

第2節 美和湖	88
1 水温	88
2 水質	90
第3節 湧水と鉱泉	91
1 湧水の実態	91
2 井戸水及び湧水の季節による温度差	92
3 鉱泉	92
(1) 岩鼻の湯	93
(2) 柳原の湯	93
(3) 烏井坂の湯(とっさかの湯)	93
(4) 非持山の鉱泉(硫化水素)	93
(5) 小瀬戸鉱泉	93
第4節 河川と耕地	95
1 美和一貫水路(美和土地改良区)	95
2 市野瀬河原耕地(市野瀬たんぼ)25ha	96
3 中尾耕地	96
4 黒川耕地(黒川河原)	97
第5節 集落簡易水道の水質と水温	97
1 村内の簡易水道	97
2 簡易水道の原水水質検査	98
(1) 平成3年10月17日実施の検査結果	98
(2) 平成4年3月16日実施の水質検査結果	106
(3) 定期(毎月)水質検査結果	109
(4) 長谷村簡易水道の年間給水内容及び使用料(平成3年度)	113
第5章 気象	115
第1節 総説	115
主な気象特性	115

1 気 温	115
2 降 水 量	115
3 風	116
4 雪	116
5 四季の気候特性	116
第2節 気 温	116
1 長谷村の気温	116
2 四季の気温 (春・夏・秋・冬)	122
第3節 降 水 量	123
1 四季の降水量	123
2 降 雪	124
第4節 風	125
第5節 天 気	127
第6節 気象と災害	130
1 気象と災害	130
(1) 大 雨	130
(2) 凶 作	132
(3) 大正3年の大洪水	135
(4) 昭和34年の災害	136
(5) 昭和36年の災害 (—36災害のつめあと—)	137
(6) 昭和57年の災害	139
(7) 三峰川洪水年表	140
2 山 の 気 象	143
第7節 気象と人生	155
1 気象と集落	155
2 気象と住居	155
3 気象と産業	156

(1) 林業	156
(2) 農業(養蚕)	156
(3) 農業(水稻)	157
第6章 植物	170
第1節 本村の植物	170
長谷村の植物景観	170
第2節 本村の植物分布	170
1 耕地及びその周辺	171
2 山地	171
(1) 戸台川沿岸(引用文)	172
(2) 幕岩とその周辺(引用文)	175
(3) 北沢峠・ヤブ沢小屋付近	179
(4) 仙丈ヶ岳・東駒ヶ岳などの高山植物	179
第3節 植物と人生	187
人生との関係	187
1 植物の利用	187
(1) 食用植物	187
(2) 薬用植物	188
(3) 用材植物	190
(4) 鑑賞用植物	190
(5) 飼料植物	191
2 長谷村の巨木・古木など	191
(1) 長谷村の巨木・古木	191
(2) 消滅した古木(非持の栃の木)	194
第7章 動物	196
第1節 長谷村における主要動物の棲息分布	196

動物分布上から見た、長谷村の位置	196
1 哺乳類	197
2 鳥類	205
3 爬虫類・両棲類	209
4 魚類	211
5 昆虫	214
第2節 農作物の害虫	216
はじめに	216
1 普通作物	216
(1) 水稲	216
(2) 陸稲及び乾田直播水稲（長谷村該当ナシ）	216
(3) 麦類（長谷村該当ナシ）	217
(4) とうもろこし（スイートコーン）（長谷村該当ナシ）	217
(5) 大豆	217
(6) 小豆	217
(7) そば	217
2 果樹	217
(1) りんご	217
(2) なし（二十世紀）（長谷村該当ナシ）	218
(3) ぶどう（巨峰）（長谷村該当ナシ）	218
(4) もも類（長谷村該当ナシ）	218
(5) あんず（長谷村該当ナシ）	219
(6) うめ	219
(7) すもも・ブルーベリー（長谷村該当ナシ）	219
(8) おうとう（長谷村該当ナシ）	219
(9) かき	219
(10) くり	219
(11) くるみ（長谷村該当ナシ）	219
3 野菜	219

(1) トマト	219
(2) ナス	219
(3) ピーマン	220
(4) キュウリ	220
(5) すいか	220
(6) メロン	220
(7) かぼちゃ	220
(8) いちご(長谷村該当ナシ)	220
(9) いんげん	220
(10) えんどう	220
(11) キャベツ類(ハナヤサイ・こもちかんらん・ブロッコリー)	220
(12) はくさい	220
(13) 野沢菜	220
(14) ほうれんそう	221
(15) レタス(長谷村該当ナシ)	221
(16) セルリー(長谷村該当ナシ)	221
(17) アスパラガス(長谷村該当ナシ)	221
(18) たまねぎ・ねぎ	221
(19) だいこん	221
(20) にんじん	221
(21) ごぼう	221
(22) ながいも	221
(23) ばれいしょ	221
4 桑	221

現代社会編

第1章 戸口	225
第1節 戸籍の始まり	225

第2節	戸口の推移	226
1	戸口の統計	226
2	戸口の推移状況	230
第3節	人口の動態	232
1	自然的増減	234
(1)	出生率	234
(2)	死亡率	235
(3)	自然的増減について	235
2	社会的増減	235
第4節	年齢階層別人口動態	236
第5節	産業別人口構成	238
第2章	政治	242
第1節	明治初年の行政	242
1	王政復古	242
2	廃藩置県	243
3	農民騒動	244
第2節	地方自治の成立	246
1	区制	246
2	行政区画の整備	248
(1)	長谷村・河合村の誕生	248
(2)	県制	249
(3)	郡制	249
(4)	再分村	250
(5)	戸長役場制度	250
第3節	町村制の施行	251
1	町村制施行	251
(1)	町村の公民	252

(2) 町 村 会	252
(3) 町村の行政	252
2 郡 制	253
(1) 郡 会	253
(2) 郡制の改正	253
(3) 郡制の廃止	254
(4) 上伊那地方事務所	254
3 地方自治法の制定	254
(1) 基 本 条 件	254
(2) 地方自治体の独立	254
(3) 地方自治法	254
(4) 地方行政のその後の変革	256
(5) 町 村 合 併	257
(6) 長谷村成立の経緯	257
(7) 両村合併の理由	261
(8) 新村名決定	262
4 新長谷村成立後の村政	262
(1) 長谷村の概況	262
(2) 長谷村の振興計画について	264
(3) 長谷村総合振興計画（昭和60年3月制定）	264
(4) 長谷村振興計画の経費 60年—64年	266
(5) 村づくり委員会、村おこし会議	267
(6) 長谷村振興計画の見直し	267
(7) 姉妹町村提携	268
第4節 財 政	269
1 地 租	269
(1) 地租の改正	269
(2) 地価の調査	270
(3) 地券の交付	272
2 財 政	273

(1) 民 費	273
(2) 町村制施行後の財政	273
3 税 金	273
(1) 法定普通税	274
(2) 法定外普通税	274
4 長谷村の財政	275
第5節 治 安	277
1 警 察	277
(1) 高遠藩・高遠県時代	277
(2) 筑摩県時代	277
(3) 警察制度の整備	278
(4) 駐在所の設置	278
2 司 法	279
3 消 防	280
(1) 消防組の結成	280
(2) 警防団に改組	280
(3) 消 防 団	280
(4) 広域消防団〔伊那消防組合〕	283
4 明治以来の風水害	285
5 防 災	289
6 長谷村の火災	290
7 交 通 安 全	291
第6節 兵 事	292
1 兵 制	292
2 各戦役と長谷村	295
(1) 戊辰の役	295
(2) 征台の役〔明治7年(1874)〕	295
(3) 西南の役	295
(4) 朝鮮出兵〔明治18年(1885)〕	295

(5) 日清戦争	295
(6) 日露戦争	295
(7) 第一次世界大戦〔大正3年(1914)7月～大正7年(1918)末〕	296
(8) シベリア出兵〔大正7年(1918)～大正13年(1924)〕	296
(9) 満州事変〔昭和6年(1931)～昭和7年(1932)〕	296
(10) 上海事変〔昭和7年(1932)1月28日～5月まで〕	296
(11) 支那事変〔日華事変・日中戦争〕	296
(12) 太平洋戦争	296
3 軍関係の組織	297
(1) 尚武会	297
(2) 在郷軍人会	297
(3) 国防婦人会	297
4 忠魂碑	298
第7節 厚生福祉	299
1 保健衛生	299
(1) 衛生行政の沿革	299
(2) 公衆衛生	301
(3) 母子衛生	304
(4) 学校保健	305
(5) 学校給食	305
(6) 医療	307
(7) 総合検診	308
(8) 環境衛生	310
(9) 火葬場	313
2 社会福祉	315
(1) 福祉行政の沿革	315
(2) 生活保護	316
(3) 児童福祉	317
(4) 身体障害者福祉	321
(5) 精神薄弱者福祉	321

(6) 老人福祉	322
(7) 共同募金	329
3 社会保障	330
(1) 社会保障制度	330
(2) 戦傷病者、戦没者遺族等の援護	337
(3) 災害救助法	338

第3章 産業経済 339

第1節 農林水産業 339

1 環境	339
(1) 自然的環境	339
(2) 社会的環境	342
2 農業	343
(1) 農地改革	343
(2) 水利（井筋）	346
(3) 水路（堤防）	355
(4) 農業関係団体	358
(5) 農業生産	379
3 林業	392
(1) 戦争前の林業	392
(2) 戦争後の林業	393
(3) 炭焼きに生きた人々	395
(4) 伊那営林署による国有林生産事業の変遷	398
4 水産業	419

第2節 工業 423

1 明治の工業	423
2 工場工業の発達	424
3 昭和前期の工業	424
4 昭和中期の工業	425

5 戦後における工業	425
第3節 商 業	429
第4節 三峰川の総合開発	436
前 文	436
1 美和ダムの構築	436
(1) 美和ダム建設の目的	436
(2) 美和ダムの諸元	437
(3) 経済効果	438
(4) 美和ダムの管理	438
(5) 開発の経過	441
(6) 補 償	443
(7) 反省の諸点	449
(8) 村民苦難の足跡（一部）	450
2 三峰川総合開発事業（戸草ダム、美和ダム再開発）	460
(1) 長谷村の概況	460
(2) 三峰川総合開発の台頭	460
(3) 事業の目的	461
(4) ダム対策に関する経過の概要	462
3 発 電 所	464
(1) 概 要	464
(2) 経 過	465
(3) 戸台発電所	465
第5節 移 住	467
開拓団と義勇軍	467
(1) 開 拓 団	467
(2) 満蒙開拓青少年義勇軍	468
第4章 交通、通信	469
第1節 交通、運輸	469

1	交通運輸の変遷（昭和30年ころまで）と発達	469
(1)	明治初年からの道路交通事情	469
(2)	広域基幹林道	483
(3)	南アルプス林道、鹿嶺林道	483
(4)	主な橋梁	485
(5)	道路の現状	488
(6)	運輸の変遷	493
2	自動車の普及と交通対策	504
(1)	伊那バス及び国鉄バス（JRバス）	504
(2)	自家用車の普及	509
(3)	交通対策	511
第2節	通 信	512
1	郵 便	512
(1)	市野瀬郵便局	512
(2)	美和郵便局	513
2	電信、電話	514
(1)	電 信	514
(2)	電 話	514
(3)	有線放送	515
第3節	報 道	517
1	新 聞	517
2	地域広報紙	518
(1)	広報「はせ」	518
(2)	館報「長谷」	518
(3)	村づくり新聞	519
(4)	Green ひろば（農協だより）	519
3	ラジオ・テレビ	520
(1)	ラ ジ オ	520
(2)	テレビジョン	520

第5章 集 落	522
概 説	522
第1節 集落の変遷	522
概 説	522
1 政治による集落の変遷	523
2 交通による集落の変遷	524
3 開発による集落の変遷	525
(1) 農地開発と集落	525
(2) 森林開発と集落	525
(3) 水資源開発と集落	526
(4) 観光開発と集落	526
4 災害による集落の変遷	527
(1) 風害と集落	527
(2) 水害と集落	527
(3) その他の災害と集落	527
第2節 集落の分布と形態	528
1 集落の分布	528
2 集落の立地	529
(1) 河岸の沖積地の集落	529
(2) 河岸段丘上の集落	530
(3) 河谷の集落	530
(4) 山腹の集落	531
(5) その他の集落	531
3 地区別世帯数の変化	531
第3節 集落の構造と機能	532
1 産業構造の変化	533
2 協同体としての生活	534
第4節 住 居	537

1 屋 敷	537
2 住居の造り	538
(1) 材 料	539
(2) 広 さ (建坪)	540
(3) 屋 根 (母屋)	540
(4) 間 取 り	541
3 付属建物・施設	543
(1) 付 属 建 物	543
(2) 庭 など	543
4 住居の現代化	544
(1) 概 説	544
(2) 住居の改造	544
(3) 間取りの現代化	545
(4) 建築資材の変容	545
(5) 公 営 住 宅	545
第5節 住 民	546
1 姓 (苗字)	546
2 通 婚 圏	549
第6章 教 育	551
第1節 学制頒布以前の教育	551
第2節 学制頒布以後の教育	555
1 学制の頒布	555
2 学制について	557
(1) 修 学 年 数	557
(2) 教 科 目	558
(3) 就 学 奨 励	558
(4) 学 校 経 費	561
(5) 教 員	566

(6) 生徒心得	566
3 教育令公布	568
(1) 就学について	568
(2) 小学校令の公布	569
(3) 学区の変更	571
(4) 高等小学校の設置	571
4 小学校令の改正	571
(1) 小学校令の改正	571
(2) 教育勅語の下賜	571
(3) 日清・日露戦争と教育	573
(4) 校舎の整備	573
第3節 昭和の教育	574
1 国民学校	574
2 新学制	574
(1) 六三制の実施	574
(2) 校舎・設備の改善	576
(3) 学校統合	576
第4節 村内各学校の沿革	578
1 溝口学校—美和小学校	578
2 非持山学校	583
3 非持学校	585
4 黒河内学校	587
5 戸台分教場	589
6 市野瀬学校—伊那里小学校	589
7 中尾学校	594
8 杉島学校	595
9 塩平分教場	597
10 浦村学校	598
11 中学校	600

第5節	青年補習教育	603
1	補習科	603
2	実業補習学校	603
3	青年訓練所	604
4	青年学校	605
第6節	教育行政機関	606
1	学校設立の促進について	606
2	督学機関	606
3	教育委員会	607
第7節	教育関係団体	608
1	P T A	608
2	教育会	610
3	教職員組合	610
第8節	社会教育	610
1	概説	610
2	公民館	611
3	図書館	612
4	青少年団	613
	(1) 青年会	613
	(2) 女子青年会	614
5	婦人会	614
第7章	学芸	616
第1節	概説	616
第2節	自然科学	617
1	気象	617
2	生物学	617
3	地学	617

第3節	人文科学	618
第4節	文 学	620
1	短 歌	620
2	俳 句	621
第5節	美術工芸	623
1	彫 塑	623
2	絵 画	623
3	書 道	624
4	建 築	625
第6節	芸 能	626
1	演 劇	626
2	歌 謡	626
(1)	伊那里唱歌	626
(2)	美和村歌	627
(3)	長谷村歌	628
(4)	伊那里小学校校歌	629
(5)	美和小学校校歌	631
(6)	長谷中学校校歌	633
(7)	長谷小学校校歌	635
(8)	孝行猿のうた	636
(9)	南アルプス長谷村音頭 長谷村成立30周年記念	637
(10)	鹿嶺高原こども村 スクスク大合唱	638
3	舞 踏	639
4	獅 子 舞	639
5	太 鼓	640
6	紙 芝 居	640
7	大 正 琴	641
8	詩 吟	641
9	コーラス	641

第7節 体 育	642
1 概 説	642
2 武 道	642
3 近代スポーツ	642
(1) 野 球	642
(2) ソフトボール	643
(3) 庭 球	643
(4) 陸上競技	643
(5) 排球 (バレーボール)	643
(6) スケート	644
(7) 登 山	644
(8) その他のスポーツ	644
第8章 宗 教	646
第1節 総 説	646
第2節 神 社	646
第3節 寺 院	650
1 各宗派の消長	650
2 村内の寺院の宗派について	651
(1) 真 言 宗	651
(2) 日 蓮 宗	651
(3) 曹 洞 宗	651
(4) 臨 濟 宗	651
3 村内の寺院	651
(1) 太平山常福寺 (溝口)	652
(2) 宝立山大揚寺 (黒河内)	652
(3) 靈応山円通寺 (市野瀬)	653
(4) 妙覚山玄立寺 (非持山)	653
(5) 長福山報恩寺 (杉島宇津木)	654

(6) 安居山正隨寺 (南非持)	654
(7) 法福寺蓬台山觀音寺 (中非持)	655
(8) 王滝山長久寺 (浦)	655

第4節 民間信仰	656
----------------	-----

第9章 觀 光	659
---------------	-----

第1節 綜 説	659
---------------	-----

第2節 名 所	659
---------------	-----

1 南アルプス国立公園	659
-------------------	-----

(1) 概 要	659
---------------	-----

(2) 南アルプス林道	661
-------------------	-----

(3) 長谷村村営バス	661
-------------------	-----

2 三峰川水系県立公園	662
-------------------	-----

(1) 国 有 林	662
-----------------	-----

(2) 三峰川水系溪流	663
-------------------	-----

(3) 巫 子 澗	663
-----------------	-----

(4) 延 命 水	663
-----------------	-----

(5) 城 山	664
---------------	-----

(6) 円通寺の石仏	664
------------------	-----

(7) 経塚原の経塚と舞台	664
---------------------	-----

(8) 宇津木の薬師堂	664
-------------------	-----

(9) 孝行猿の遺跡	664
------------------	-----

(10) 小松氏の墓	665
------------------	-----

(11) 中尾の石仏群	665
-------------------	-----

(12) 八 人 塚	665
------------------	-----

(13) 熱 田 神 社	665
--------------------	-----

(14) 桑田の薬師堂と香時計	665
-----------------------	-----

(15) 御 山	665
----------------	-----

(16) 田 城 高 原	666
--------------------	-----

(17) 鹿嶺高原	666
(18) 美和湖	666
(19) 絵島囲み屋敷跡	667
(20) 円座松	667
(21) 検校塚	667
(22) とちの木	667
(23) 七面堂	667
(24) 馬頭観音碑群	668
(25) 池上一門の位牌堂	668
第3節 その他	668
鹿公園	668
第4節 施設とその利用	668
1 仙流荘	668
2 山小屋長衛荘	669
3 小瀬戸鉱泉塩見荘	670
4 山小屋	671
5 南アルプスふるさと祭り	671
第5節 産物	671

参考文献

執筆者一覧表

資料提供及び協力者

刊行委員会役員名簿

編纂委員会委員名簿

編纂・刊行委員会事務局職員名簿

あとがき